



STEP



虹の原特別支援学校吉岐分校

小学部 進路だより

令和7年7月15日 第1号



今年度は、小学部からも進路だよりを通して情報発信していきたいと思います。

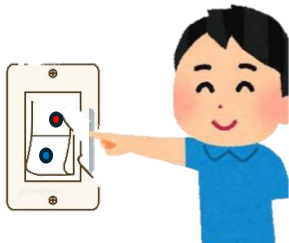
さて、進路と言われても将来のことなんてまだイメージできないよ。という保護者様も多いのではないのでしょうか。私も自分の子供の将来をまだイメージできていません。ただ、小学生のうちから何かお手伝いの習慣をつけておくことで、子供たちの将来の選択肢の幅が広がると考えています。難しく考えず、電気消すのは上手だから、それをお手伝いとして、消してくれたら「ありがとう!」と伝えよう。など、気軽に始めてみませんか♪家族に「ありがとう」と言われると、できたという達成感や感謝されることへの喜びを感じることができます。そして、役割を任せられ、認められる経験を積み重ねていくことが、「人から任せられることの喜びを感じる=働く喜び」へとつながっていくと考えられます。

いよいよ夏休みが始まります。長い夏休み、普段なかなかできない体験や家でのお手伝いに取り組んでみて、経験を広げてほしいと思います。今回は、お手伝いの方法を紹介したいと思います。

こんなお手伝い、いかかでしょう?!



○ 電気を付けたり消したり係



- ① 電気のスイッチにカラーシールや好きなキャラクターシールを貼る。
- ② シールを貼った所を押すようにお願いする。
- ③ できたら、「ありがとう!助かったよ!」など感謝を伝える♡
- ④ できるようになってきたら、徐々に「電気消してくれる?」などの言葉掛けに変えていく。

○ 配膳係(学校では毎日、おぼんに配膳された給食を職員室から自分の机まで、運んでいます。)



- ① 運ぶテーブルに分かりやすい目印や、テープなどで囲いを作り、おぼんを置く場所を明確にする。
- ② おぼんに、配膳する。
(割れない皿や、こぼしても後処理が楽な物から始めると気が楽です。)
- ③ テーブルに付けた目印などを見せ、置き場所の確認をする。
- ④ 配膳を頼む。(見本になる人が前にいるとスムーズかもしれません。)
- ⑤ 配膳ができたなら感謝を伝えたり、大いに褒めたりする。

○ 薬味ぱらぱら係（夏は薬味が欲しくなる料理はたくさん！ネギに生姜にみようが、ごま！）



- ① 薬味を使う料理を作る。
- ② 一回入れる分だけを準備する。
- ③ 入れ方の手本を見せる。（3つまみなどある場合は、1、2、3と数を数えたり、数字を書いたカードをめくったりしながらすると数字と数がマッチしやすい。）
- ④ 入れてもらうことをお願いする。（一緒に数えたり、入れたりするのもあり！）
- ⑤ できたら、感謝を伝え、食べる時も「おいしい」「うれしい」「ありがとう」の言葉を伝える。（家族みんなが言ってくれれば、とってもうれしい♡）

○ 花や野菜の水やり係



- ① 一緒に育てたい花や野菜を決める。（家にある場合はそれでも OK!）
- ② 一緒に植える。
- ③ 名前や印をつける。
- ④ 水をあげる。感謝の気持ちを伝えたり、一緒に生長を楽しんだりする。（定期的に植物と水やりの写真を撮っておくと、水やりしてくれたから、大きく生長したね。と振り返りもできる。）

いくつか紹介させていただきましたが、最初から難しいことに取り組む必要はありません。できるだけ「毎日取り組むことができること」を見つけて続けることが大切だと思います。保護者の方の無理のない範囲で始めることも続けるコツかもしれません。気楽に始めて「ありがとう!」と伝えられるものが良いのではないかと思います。どれが良いか迷ったら、ぜひ担任にご相談ください。学校では、日直や係活動などもしていますので、それに関連する手伝いだとお子さまもスムーズに取り組めるかもしれません。

将来、「手伝いをしている」は大きな強みになってきます。ぜひ小学生の段階から、習慣付けていきましょう☆

今回は、B 型事業所の仕事内容や保護者の皆さまに、お子さまにどのような手伝いをしてほしいかアンケートを取らせていただきたいと思います。ご協力をお願いします。

